

巻頭インタビュー

美しく、誇れる 大宮通りを目指して。

ゆめみあーと 吉田武さん

きつかけは ワークシヨップ

2008年(平成20年)から3年間、県と二緒に開いたワークシヨップがきつかけで、「ゆめみあーと」の集まりができました。

大宮通りの景観を良くしようと、まずは通りのゴミを拾う

ことから活動を始めました。毎月第二金曜日に定例で行うようになり、そのうち終了後に井戸端会議を開くように。これらの取り組みが認められ、奈良市も活動を支援してくれるようになったのです。

県も一緒に 花壇を手づくり

その後、担当していた県職員



ゆめみあーと 吉田武さん



沿道は雑草もゴミもいっぱい…。

の熱心な勧めもあって、歩道の草刈りを始めました。草を刈ったら、次は花を植えたい気持ちで湧きあがり、農業用機械を持ち込んで土を耕して花壇として整備したのです。それ以来、毎日水やり。あの職員に寄せられたようなもんです(笑)

雨が降ると ほっとする

最初のうちは、花壇の前にあるファミリーマートさんの水

な。

これからは花壇の整備や維持管理について、もっと地元と相談しながら丁寧に進めてもらえるとうれしいですね。早め

早めに情報を提供してもらえたら、私たちも、花の選び方や水やりの方法など、色々アイデアを出せる。地元の方々も整備に参加してくれて、「自分の花壇」として楽しんでもらえるようにになるといいなと思います。

街路樹の剪定も 少し良くなった

大宮通りのケヤキについても、枝をばっさり切ってしまうのではなく、立派な枝振りになるような剪定をお願いしてきました。最近、枝を残すように配慮されています。これも成果の一つでしょう。ムクドリの被



きれいな花が街に彩りを添えてくれる。

大宮通りを奈良が 誇れる玄関口に！

害への対応も必要ですが、立派な街路樹に育ててほしいですからね。

阪奈道路から大宮通りへ入ってくると、若草山がパインと見えます。なんとも素晴らしい景観！なのに、見苦しい看板があったり、街路樹が貧相だったり、その根元が草だらけだったりすると艶消しです。もったいない…。

電線地中化の工事も進められていて、素晴らしい枝振りの街路樹が続き、その足下には手入れされた花壇にきれいな花が咲き誇る、そんな通りにしたいですね。大宮通りは奈良の正面玄関。東京の青山通りや大阪の御堂筋に負けない、美しい通りを目指したい。そのためには、整備も大事ですが、その後の維持管理がより重要だと思っています。

世話をする ところだけ 花を植えれば？

県がフラワーポットを設置していますが、きれいに咲いているところもあれば、草だらけで花に元気がないところもありま



行政とも話し合ってよりよい街づくりを目指す。

「ゆめみあーと」で 頑張りたい

自分たちの地域を自分たちで良くしていく。当たり前のことですが、大切なことであ

道を借りて水やりをしています。したが、水道代が毎月多額になってしまいました。これでは申し訳ないと思い、自分で電動ポンプを買ってきて歩道脇の水路から水をくみ上げることにしたのです。電気は、今もファミリーマートさんが提供してくれています。

ポンプアップしてホースで水をまいて、この二連の作業に毎日40分ぐらいかかります。正直なところ、やっぱり大変ですよ。通り雨でもあれば、「今日は水やりをせんでもええな」とホッとします。

自分の畑でも 花を育てている

花の植え替えは年2回。花は県が用意してくれます。

自分でも、家の畑でポット苗を育てるようにしており、昨年にはマリーゴールドを1500



毎回、袋いっぱいのゴミが集まる。

新しい花壇は 一つの成果かな？

今の花壇の向かい側に、新たな花壇を設ける工事が進んでいます。看板が立ち並び景観を阻害していた場所を、県が借地して整備してくれることになったのです。これで、長年の懸案が解決します。「ゆめみあーと」をやってきた成果か



日差しがきついでたっぷり水をやりませう。



毎月定例の清掃活動を終えた「ゆめみあーと」の皆さん。

動に興味を持ってもらえたらうれしいですね。

行政も 本気になろうや！

最後に言いたいことがあります。それは、行政も本気になって欲しいということ。私たちは本気で「まちづくり」に取り組んでいます。だから、行政の担当者も、もっと親身になって欲しい。3年から5年で異動してしまう現状では難しいこともあるかもしれませんが、それでも地域のことを真剣に、親身になって考えることはできるはず。そんな行政職員が増えることを望んでいます。



今年もきれいに咲いたファミリーマート前花壇のマリーゴールド

り、楽しいことでもあります。「ゆめみあーと」は、そんな「まちづくり」に頑張ってください。みんなでいきたいと思います。このジャーナルをきっかけに、「ゆめみあーと」の活

情報ファイル

大宮通りを美しく！

花で大宮通りを美しく！

県では、花壇の整備、フラ



二条大路南5丁目交差点の南東角(ファミリーマートの向かい側)に新しい花壇を作っています。

ワーポットの設置など、大宮通りに花を植えて美しくする取り組みを行ってきました。

花の水やりなど、地域の方々にも多数ご協力いただいています。たとえば、二条大路南5丁目交差点。ここは、阪奈道路や第二阪奈道路を通過して奈良を訪れる際、高架道路から降りて来る車から真っ先に目に入る「玄関口」だと言えます。この交差点の北東角にある花壇は、「平城遷都1300年祭」の頃から地域の方々(現在の「ゆめみあーと」の皆様)がお世話してくださっています。

新しい花壇も整備します

その反対側、交差点の南東角に新しい花壇を整備しています。これで、大宮通りの両側に花壇ができることになり、新しい花壇は「ゆめみあーと」の皆様からも助言を受け、道路沿いを低く、奥へ行くほど高くなる配置とし、道路側からの見栄えに配慮しました。

「行政職員にはもっと親身になってもらいたい」とのお声に応え、地域の皆様と力を合わせて、この2つの花壇を、奈良を訪れる方々への歓迎の気持ちを表し、おもてなしする拠点にしていきたいと考えています。

他にも、油阪交差点付近などで新たな花壇を整備する予定です。これからも大宮通りを花で綺麗な通りにするために頑張ります。

大宮通りの街路樹も美しく！

大宮通りの街路樹については、「立派な街路樹にするために、枝をむやみに刈り込まないように」とのお声がある一方、「ムクドリ等の巣になって鳴き声や糞の害に困っている。枝をばっさり刈ってほしい」とのご要望もあり、多くのご意見をいただ

今年1回目の剪定作業。施行する業者さんと県の職員が剪定方針に基づいて相談しながら進めています。



街路樹の剪定について方針を定めています

これら相反するご要望にも配慮し、経済性等も考えながら、道路を管理する上で必要な剪定を実施するために、大宮通りの街路樹の剪定について、次のような方針を定めています。

- ・年2回、ムクドリが集まり始める前の6月と、枯葉の落ちる前の11月に実施。
- ・良い方向(幹から外向きの上方)に伸びる枝を残し、ある程度木陰を作ります。

これからも工夫を重ねていきます

定めた指針に基づき、11月には秋の剪定を行う予定です。これからも、皆様からお寄せいただくご意見をヒントにして、「できること」を探し出し、改善を続けて行きたいと考えています。

【道路管理課】

大宮通りが便利になります

「ぐるっとバス」を「ぐんじ」ですか？

県は、平成23年から運賃100円の「ぐるっとバス」を運行しています。奈良市内の道路の渋滞緩和と、奈良公園や平城宮跡を訪れる観光客へのサービスとして開始しましたが、最近では地元の方々のご利用も増えてきました。

「ぐるっとバス」は赤と青の2ルート

平成26年6月より、「奈良公園ルート」を赤色、「平城宮跡・ならまちルート」を青色にラッピングし、よりご利用いただきやすくなりました。

「奈良公園ルート」は、赤色のバスで奈良公園内(東大寺・国立博物館・春日大社・若草山麓など)と、ならまち、JR奈良駅、近鉄奈良駅を結んで、約15分間隔で運行。「平城宮跡・ならまちルート」は、青色のバスで県庁前と近鉄奈良駅、JR奈良駅、平城宮跡を結び約20分間隔で走っています。

年間195日運行しています

土曜日・日曜日・祝日は通常、春秋の観光シーズンやムジークフェストならなら燈花会・奈良瑠璃絵・平城京天平祭などのイベント期間中には毎日、今年度は通算195日間運行します。

また、春秋の観光シーズンには、「ぐるっとバス」と奈良交通の路線バスが一日乗り放題となる「木簡型」日乗車券を販売。大人500円、子供250円で奈良市内の指定区間のバスが一日乗り放題となるのに加え、沿線の寺院等での優待料金適用などの特典もあります。

「ぐるっとバス」



朱雀門の前を走る青色のぐるっとバス

「ぐるっとバス」運行ルート



大宮通りが楽しくなってきました

県営プール跡地 活用プロジェクトを進めています。

奈良公園と平城宮跡の間、大宮通りと三条通りに挟まれ、奈良市庁舎の目の前というまちなかに生まれた約3.1haの県有地。これを活用して、国際ブランドホテルを核に、コンベンション施設、イベント広場、駐車場やバスターミナル、その他商業施設等、奈良の新たな観光交流拠点を整備するプロジェクトを進めています。

奈良県は、3つの世界遺産をはじめとする豊富な文化・観光資源を持つ観光地ながら、「日帰り観光」が定着し、観光関連の消費や雇用の機会を逃しています。当該プロジェクト

は、この課題を解決する起爆剤として、奈良県の観光のあり方を抜本的に変えることを目指しています。

ホテル事業者の公募スタート

この度、当該プロジェクト実現に向け、8月29日にはプロジェクトの核となる『国際ブランドホテル』の建設・運営事業者の公募を始め、年末にはプロジェクトのパートナーとなるホテル事業者を選定する予定です。

奈良警察署の解体も始まる

8月に着手した、奈良警察署の解体工事は年度末には完



構想段階におけるイメージ図。施設内容や配置については選定されたホテル事業者と協議し具体化、変更していく予定です。

奈良公園の園路整備が進んでいます

県庁東交差点から大仏殿交差点の間の道路は北側に歩道がなく、奈良公園の玄関口であるにも関わらず、歩行者のすぐ横を車やバスが通行するなど、非常に危険な状況が続いていました。

工夫を重ねながら歩道を整備

県では、これを改善し、奈良公園への来訪者が安心してゆったりと周遊できるよう、平成24年に歩道の整備に着手しました。

道路を広げる用地の確保が難しかった、国立博物館と氷室神社に挟まれている部分も、歩道設置の余裕を作り出す計画をたてました。

平成24年には国立博物館前バス停留所を南に移設し、南側歩道内に残っていた切り株



国立博物館前北側歩道歩行者に配慮した人に優しい歩道を整備します。

平成26年度はいよいよ電線類を地下に埋設する電線共同溝工事に着手します。電線共同溝は地下の工事になるので、工事期間中は舗装が傷んでいくだけに見えますが、工事が全て終われば、電柱がなくなり歩道が生まれます。花壇も設置して、綺麗な道にしていこう方針で邁進しています。

【奈良公園室】

夜間工事が主体となるため、皆様にはいろいろご迷惑をかけておりますが、ご協力のほどよろしくお願いたします。

いよいよ工事も最終段階へ

平成26年度はいよいよ電線類を地下に埋設する電線共同溝工事に着手します。電線共同溝は地下の工事になるので、工事期間中は舗装が傷んでいくだけに見えますが、工事が全て終われば、電柱がなくなり歩道が生まれます。花壇も設置して、綺麗な道にしていこう方針で邁進しています。



平城宮跡歴史公園に新たな動き

棚田嘉十郎氏を始め、多くの地元の方々の汗と思いが込められた「平城宮跡」。大正11年の史跡指定から、継続して国による保存整備が進められてきました。文化財の発掘調査や研究の成果を基に、平成10年には朱雀門や東院庭園、平成22年には第一次大極殿などを復原。現在は、国営公園として、第一次大極殿の基壇や第一次朝堂院の整備が進められています。



朱雀門南側区域の整備イメージ図

朱雀大路西側地区の整備が始まります

さらに、朱雀門の南側、史跡平城京朱雀大路跡の東西区域を「平城宮跡」の正面玄関としてふさわしい、往時の平城京のスケールを感じさせる広がりのある空間にしよう、国と県が一体となった整備が始まっています。東側地区では、国が平城宮跡展示館の整備を始め、県が整備する西側地区には、バス・タクシー等の交通ターミナル、飲食・物販などのサービス提供施設のほか、奈良観光の玄関口として観光情報を発信する施設ができる予定です。

積水化学奈良工場の撤去が始まりました

8月から、積水化学工業による工場の撤去が始まりました。今後は、県が工場跡地の文

化財発掘調査などを行い、皆様に快適にご利用いただける公園を目指して整備を進めていきます。



撤去が始まった積水化学工業

平城宮跡の魅力伝える「平城京天平祭」

「平城京天平祭」においていただいたことはありますか？平成22年度に開催された「平城遷都1300年祭」の賑わいを、過性のものにならないために、その翌年から春夏秋に開催しています。

5月には天平行列を中心としたフェアを、8月は夕方から夜にかけて光と灯りのイベントを開催。秋は、古代行事の再現と花の展示を中心に展開しています。

盛況だった夏の平城京天平祭

8月29日(金)～31日(日)に開かれた「平城京天平祭」夏2014」も連日大盛況で、



朝堂院に置かれた青龍をモチーフにしたミラーボールのオブジェ。背後には、ライトアップされた大極殿がみえる。

特に2日目は過去最高の来場者数を記録しました。今回は、国土交通省により土系舗装されたばかりの第一次朝堂院地区を、初めてイベント会場として利用。ミラーボールを用いた光のコミュニケーション「夜空に煌めく四神」、水幕に映し

出されたウォーターアートプロジェクトが好評で、「土埃がたたくて良い」「広々として歩きやすい」など整備を喜ぶ声も多々ありました。地域の学校との初コラボレーションは、都跡小学校の5・6年生が「将来の夢」をテーマ

秋の天平祭に お誘いくださいー！

11月1日(土)～9日(日)には「平城京天平祭・秋2014」を開催します。平城宮跡の魅力さをさらに味わっていただける、秋の天平祭においでください。

【平城宮跡事業推進室】



「将来の夢」をテーマにした絵に光を入れて展示した「キッズアートバック」。